

安全作業手順書【非常駐車帯清掃】

見積もり基準をした危険性の評価			
可能性(A)	軽微 (不休と休業3日以内)	重大 (休業4日以上)	極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○(極めて小さい)	○△(かなり小さい)	○×(中程度)
△たまに起こる (1年に1回程度)	△○(かなり小さい)	△△(中程度)	△×(かなり大きい)
×かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○(中程度)	×△(かなり大きい)	××(極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (様子を見る)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC~春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC~飛島北IC,有松IC~上社JCT)
機器工具 ・車両	ホウキ、ちりととり、てみ、ごみばさみ、 ダンプ車、ハンドスウィーパー	保護具	ゴム手袋、軍手、保護マスク、安全チョッキ 安全ぐつ、安全長ぐつ、ヘルメット

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント (~なので~になる)			リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ) (私達はこうする)			リスクの再見積り		
			(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク			
準備工	作業確認	作業員の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う しらすんだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 作業前に 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / / / 作業中に機械が故障し、思わぬケガをする 電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△ ○ / / △ △	× × / / × ×	4 3 / / 4 4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / / 作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○ ○ / / ○ ○	○ △ / / ○ ○	1 2 / / 1 1			
	車両確認													
	作業車両準備													
	作業車両点検													
	出発準備													
本作業	出発	 セーフティーバイブル										25.車両回送手順書に則る		
	規制内進入													
	車両移動													
	停止													
	逃走防止													
	使用機器等 準備	車両から必要機材を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△ △	△ △	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から 車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○ △	△ △	2			
	作業箇所への 移動	非常駐車帯作業箇所まで移動する	非常駐車帯への進入は十分に注意して	確認不十分で走行車両に接触する	△	×	4	助手の指示に従って十分に注意して進入する	○	△	2			
	清掃作業	非常駐車帯内のごみ拾いを行う	ごみばさみ等、器具を使用して	素手でごみを拾い、ガラス片などで怪我をする	×	○	3	必ず手袋、軍手を着用し、ごみばさみ等 器具を使用して拾集する	○	○	1			
		拾集したごみを積載車両に積込む	安全な車両位置を確保して	積込み時、周囲確認を怠り走行車両に接触する	△	×	4	現場保安員を配置し、作業員の動きを注視する。 しらすんだー等で注意喚起を行う。	○	△	2			
	現場移動	現場移動する	①横荷の飛散防止対策を必ず行い	シートを荷台にかけず、 回送中に荷台の荷物が飛散・落下してしまう	△	△	3	シート及び物を必ず使用して 飛散防止の養生を行う	○	△	2			
②走行車両に注意して			確認不十分で走行車両に接触する	△	×	4	助手の指示に従って安全を確保してから合流する	○	○	1				
③外輪差(オーバーハング)に気をつけて			車両左側面と壁高欄等が接触する	△	×	4	助手の指示に従って安全を確保してから合流する	○	○	1				
(回送)	車両回送手順書に則る													
片付け (離脱準備)	車両に使用機器・道具等を積込む	運転者は飛散防止シートをかけ	シートを荷台にかけず、 回送中に荷台の荷物が飛散・落下してしまう	△	△	3	シート及び物を必ず使用して 飛散防止の養生を行う	○	△	2				
	路面等場内の確認をする	忘れ物、清掃漏れが無いか再度確認	出発前に確認を怠り、忘れ物等に気づかず離脱し 走行車両と接触する	△	△	3	現場監督者を含め二人以上で必ず 場内の確認をしてから離脱する	○	△	2				
現場離脱														
帰着														
駐車														
後処理	ごみを分別する	所定の位置で	素手で分別を行い、ガラス片などで怪我をする	×	○	3	必ず手袋、軍手を着用して分別する	○	○	1				
	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/				
特記	不審物対応	不審物(ナンバープレート・注射器等)を発見した場合(東名)	①発見した状況の写真を撮る ②メンテ(NHS)に一報を入れる ③10~15分安全を確保した上現場に待機する ④15分間指示が無い場合、離脱する(離脱することを一報入れる) ⑤不審物を安全な場所(路肩)に移動させて離脱する											
		不審物(ナンバープレート・注射器等)を発見した場合(名二環)	①発見した状況の写真を撮る ②メンテ(NHS)に一報を入れる ③不審物を最寄の回収ボックスに移動させる ④離脱する(離脱することを一報入れる)											
	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。												
台車を使用する 場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から 遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1				